



# チームカ合

力合小学校だより No6  
令和3年7月9日  
児童数: 524名  
文責: 校長 馬場康弘

## 今年度の児童会テーマが決定!

今年度の児童会テーマが、「助け合う 思いやりに ありがとう」と決まりました。児童会の意思決定機関として、代表委員会という話し合いの場があります。このテーマには、力合小学校の児童会をこんな風にしたいという子どもたちの思いが込められています。子どもたち一人一人が、このテーマを自分のこととして受け止め、自分たちで進んでこのテーマの達成に向けて日々の生活を送ってくれることを期待しています。「ありがとう」、たった5文字の言葉ですが、時代が変わっても国が違って人も人を繋ぐ素晴らしい言葉ですね。

## お元気で!



【矢部有希教諭】



【ハニスALT】

先般、文書でお知らせしましたが、この度、矢部有希教諭が出産に備え、7月7日から産前休暇に入り、しばらくお休みします。3・4年生の算数を担当していました。常に分かりやすい授業を行い、子どもたちからもよく慕われていました。また、ハニスALTは、母国のシンガポールへ帰国することになりました。全てのクラスで授業を行い生きた英語を使って子どもたちと楽しく会話をしていました。子どもたちがハニスALTに気軽に話しかける姿がとて印象に残っています。お二人ともお元気で!

## 東京オリンピックに向けて

新型コロナの影響で、まだまだオリンピックがどうなるか、不透明なところがあります。そんな中力合小学校の卒業生で(学校創立100周年時に在籍されていたそうです)、聖火ランナーの大役をお務めになられた渡邊弘幸様が、ご厚意で1週間聖火トーチを力合小学校へお貸しくださいました。



これには子どもたちも大喜びで、自分のタブレットを使って記念写真を撮っていました。きっと一生の記念になることでしょう。

渡邊様は、現在「ふれあいトーチリレー」として、熊本市内の9つの幼稚園、小・中学校へトーチを貸し出され、子どもたちと夢や希望そして感動を共有し、オリンピックアスリートへの応援の契機となればと行動されています。子どもたちや我々職員にも素敵な思い出をつくっていただきありがとうございました。

## 部活動がスタート

今年度より、「総合音楽部」と「総合運動部」と名称を変え、毎週火・木曜日の放課後に活動しています。どちらの部も音楽や運動に親しみ、異学年の子どもたちと一緒に楽しく活動することを目的としています。



【総合音楽部】



【総合運動部】

この他、社会体育の力合野球クラブの子どもたちも元気いっぱい白球を追いかけています。



体育館床の全面張り替え工事が、7月22日～9月10日(予定)の期間行われます。夜間開放等でご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。工事が早めに終わりそうでしたら、メールでお知らせします。

**7月の全校朝会では、「危険を予測して、身を守っていこう」という話をしました。まもなく夏休みが始まります。以下の内容をもとに、お子さんと話し合っただけければありがたいです。**

みなさん、おはようございます。1学期も残り約2週間となりました。1学期の自分自身や学級の様子を振り返って、学習面や生活面について1学期のまとめにしっかり取り組んでほしいと思います。

今、校長先生は、みなさんの姿を通してとてもうれしく思っていることがあります。それは、「明るく、相手より先にあいさつをする人がふえてきた」ことです。このようなあいさつができるようになると、「この人は感じのいい人だな。」「また話してみたいな。」と周りの人から思われることが多く、みなさんがこれから生活していく上でとても大切なことですので、ぜひ続けて取り組んでください。

さて、今日のお話をします。みなさん、テレビなどで天気予報は見ますか？昔は予報が外れる日も多かったのですが、今では、次の日の天気などは、ほぼ予報通り当たるようになりました。明日が雨だと分かっていると、傘が必要だとかいろいろ準備することができますよね。

でも、先のこと（未来のこと）を予測できるのは、天気だけでしょうか？そこで、次の写真を見てください。



これは、ある日の休み時間に廊下の様子を写した写真です。もし、矢印の方向に走ったらどのような危険があるでしょうか？隣の人と30秒間話し合ってください。話し合いを止めてください。背中をぴんと伸ばして聞く姿勢に戻ってください。ペアで考えを出し合えましたか？「廊下にいる人にぶつかってしまう。」とか「教室から出てくる人とぶつかってしまう。」あるいは、転んで廊下に置いてあるものにぶつかってしまう。」というような意見が聞こえてきそうです。他にも、学校には、骨折などの大きなケガをしているお友達やいろいろな事情

があるお友達もいます。そういうお友達に対する思いやりの心も必要です。

それでは、次にこの写真を見てください。これは、運動場のある場所の写真です。どこだか分かりますか？児童育成クラブの前の国旗掲揚場とバックネットのところですね。では、この場所にはどんな危険なところがあるでしょうか？隣の人と30秒間話し合ってください。話し合いを止めてください。気持ちを切り替えて、聞く姿勢に戻ってください。「鉄でできているものがある。」とか「コンクリートがある。」とか「滑りやすいところや転んでしまいそうなところがある」とか、いろいろな所に気づいた人も多かったでしょう。



お話の初めに、みなさんに「予測できるのは天気だけでしょうか？」と聞きました。覚えていますか？実は、注意して見たり考えたりすると、「危険なことも予測できる。」のです。これまで、みなさんは、いろいろなケガをしたことがあったことでしょうか。その中で、もう少し注意すれば防げたケガはなかったでしょうか？

このように、この先の危険なことを予測することができれば、その危険から身を守ることができるのです。そして、この危険を予測するのは、時には、目で見たり、耳で聞いたり、鼻で匂ったり、口で味わったり、皮膚で感じたりして予測していくのです。



今日は、廊下や運動場の一部の写真を見てみなさんに危険を予測する練習をしてもらいましたが、学校には、他にも危険な所はたくさんあります。また、学校から一歩外へ出ると、車がたくさん走っている道路や見通しの悪い交差点、人通りが少なく不審者が出そうな場所など、危険なところは数えきれないくらいあります。



そこで、みなさんがそうしたところの危険に気付けるように、校長先生から一つお願いがあります。それは、「廊下は右側を歩きましょう」ということです。まず、これができないと身の回りの危険には気づけません。もちろん、すでに、廊下は右側を歩いている人もたくさんいます。しかし、力合小学校の全員ができないと、誰かが危険なことに遭ってしまうのです。もし、誰かが廊下を走っていたら、「廊下は右側を歩こう」と優しく教えてください。

今日のお話は、難しい言葉がいくつもあって、特に、低学年の人には分かりにくかったかもしれません。もし、分からないことがあったら、担任の先生や校長先生に聞いてください。

それでは、これでお話を終わります。